

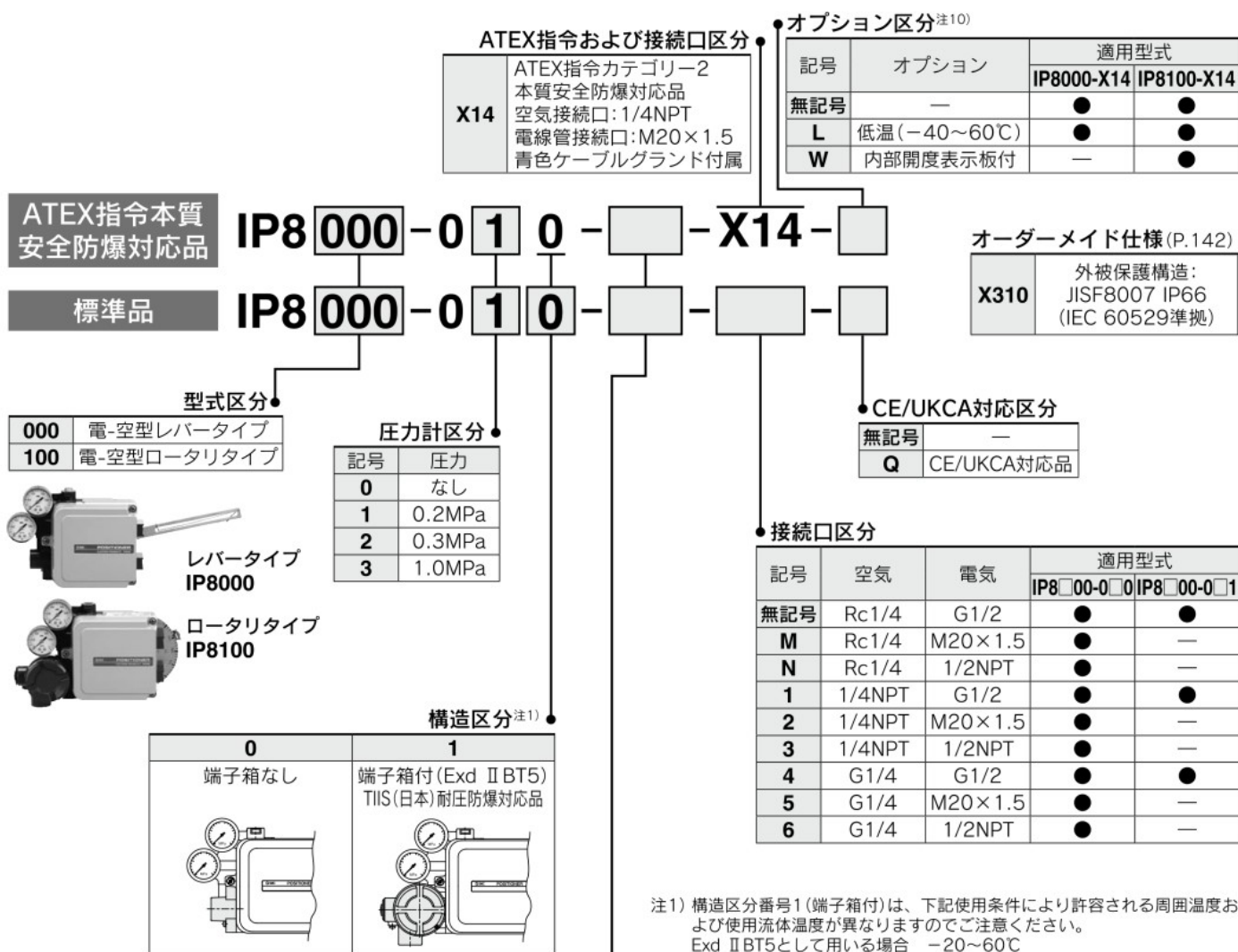
電-空ポジショナ (レバータイプ/ロータリタイプ)



IP8000/8100 Series

- 保護構造: JISF8007 IP65 (IEC 60529準拠) ● モニタリング機能 (開度発信DC4~20mA、付属品区分J, JR)
- 防爆構造/電-空ポジショナ: TIIS耐圧防爆構造 (Exd II BT5) ATEX本質安全防爆構造 (II 2G Ex h ib IIC T5/T6 Gb)

型式表示方法



記号	付属品	適用型式	
		IP8000	IP8100
無記号	付属品なし	●	●
A	φ0.7出力絞り入りパイロット弁付 ^{注3)}	●	●
B	φ1.0出力絞り入りパイロット弁付 ^{注3)}	●	●
C	フォークレバー式継手M ^{注4)}	—	●
D	フォークレバー式継手S ^{注5)}	—	●
E	ストローク35~100mm/レバーユニット付 ^{注6)}	●	—
F	ストローク50~140mm/レバーユニット付 ^{注6)}	●	—
G	補償スプリング (A) 付 ^{注7)}	●	●
H	外部目盛板付 ^{注8)}	—	●
J	開度発信 (DC4~20mA) / 正作動型 ^{注9)}	—	●
JR	開度発信 (DC4~20mA) / 逆作動型 ^{注9)}	—	●

注1) 構造区分番号1 (端子箱付) は、下記使用条件により許容される周囲温度および使用流体温度が異なりますのでご注意ください。

Exd II BT5として用いる場合 -20~60℃

非防爆として非危険場所に用いる場合 -20~80℃

劣換ラベルはExd II BT5相当が本体に貼られます。

注2) 付属品が重複する場合は、付属品区分の符号をアルファベット順に連結。
例: IP8100-010-AG

注3) 記号Aはアクチュエータ容積90cm³程度に適用。記号Bはアクチュエータ容積180cm³程度に適用。

注4) IP8100-0□0-□-X14の場合はフォークレバー式継手MX (接続ねじ: M6×1) となります。

注5) IP8100-0□0-□-X14の場合はフォークレバー式継手SX (接続ねじ: M6×1) となります。

注6) 標準レバーは付属されません。

注7) 付属品区分記号AまたはBを使用してオーバーシュートぎみの場合にAまたはBに併せて用います。

標準補償スプリングは付属されません。

注8) 側面取付の場合は、内部開度表示板付 (標準品は、IP8100-0□□-□-□-X318、ATEX本質安全防爆対応品は、X14-W) をご選定願います。

注9) 記号J/JRは端子箱付、非防爆仕様になります。なお、構造区分は1を選択してください。また、正作動とは、ポジショナカバーの正面側から見てアクチュエータの主軸が時計方向に回転する作動方向を示します。

注10) LとWの組合せは対応できません。